

# クール・ジャパン

日本の価値は、GDPで表される経済力だけでなく、文化的魅力によってこそはからなければならない時に立ち至った。

マンガ、アニメ、ゲームはもちろん、ファッション、料理、工業デザインにいたるまで、今世界で日本文化が「クール（カッコいい）」と受けとめられてきている。日本発のさまざまな「平和と

共生」の文化が、いまや世界を席巻しているといっても過言ではない。これら日本の希望の特徴は、一切政府の支援を得られていなかったものばかりです。政府・官僚支配から無縁なものであります。

世界の8大文化圏の中で、日本だけが唯一の単一族国家です。しかも、平均的文化水準は米英と中国をも凌駕している国家です。日本は「超かっこいいのです」磨きをかけている時です。加速すべきです。財務省支配下の金融機関の



「地本主義」でしか生き残れない融資制度は深刻なデフレに、全く功を奏していません。諸悪の根源は、追米霞ヶ関の財務官僚です。

これは如何に「官僚と政治家」が未来に無能であるかの立派証明であります。しかし日本は新次元に方向転換するしか未来がない、「クールジャパン」を輸出の中心に、変わりゆく政府の動きが始まる姿を、経済産業省にみる。

日本は伝統文化を保持しながら、外来文化を柔軟に受け入れ、複数の宗教をも共存させてしまうような独特の「歴史文化」をつくってききました。

財務省官僚が、結局日本を滅ぼすのです。個人増税や法人税の減税ではなく、日本の進むべき道は、世界初の景気需要創出でなければならぬ。国会議員の有名な「2番目」では絶対にダメです。すでに隣国の韓国に敗退して

います。少子化が問題になっていきます。この国に全く未来がないと若者は薄々感じ始めています。人々はニヤケた「仮免」の菅・仙石に“果てしない不安”を感じ、未来を人質に取られ、完全に明日に絶望している。真逆のホット・ジャパンだ。

## 漢字一文字

今年の漢字一字は「暑」に決まった。

記録的な猛暑により熱中症にかかる人が続出し、これに伴い野菜価格が高騰し、熊なども人里に出没。また地中の「暑い」中から作業員全員が生還したコピアポ鉱山落盤事故、一万度の突入温度から帰還した「はやぶさ」（8月上旬、現物を見学）など反映した模様です。

今年一年、事務所の一字は「耐」。税務調査・異議申し立て・不服審判所審査請求・裁判所証人等、大きく前進しました。職業的理念の「事実と証拠に謙虚に従う」使命を基本的に不遜な現場当局に、全面的に対峙しました。

## 女とおとこ

愛とは空気のような存在、かけがえのない究極の形と云う方がいます。

そもそも語り合える相手が最高のパートナー。本気で語り合うためには、心の解放が伴う。体で語り合うことによって、より心は解放されるものです。それほど心と体は一体です。そもそも、おとこの女の基準は「寝たいかどうか」です。女は「寝れる」かが基準でしょう。

おとこが話す程寝たくなるより、寝れば寝るほど語りたくなる女が、かけがいのない相手と、人気女性脚本家が語っています。

人にはすべてに愛の「物語」がある。本気で語り合おう。そして、それぞれのヒストリーを創りましょう。苦しみの後に楽しさを見つかります。覚醒します。恋をし元気になるう。



(有)西川経営オフィスサービス  
**中村会計**  
**事務所便り**  
 2010年12月13日(月) NO.159  
 地域から明るい未来を作ろう